

Date	Locality	Remarks
01-9-30		11:45a、AI301は成田から離陸した。 16:45 p (20:15JP)にDelhiに着陸する。旅行者の若い社員23歳が迎えに来ていた。デリー大学の政治学部を出て、日本文化センターで日本語を習ったという。政治家の通訳になるのが夢だといっている。 18:00 p 過ぎにRanjit Hotelに着く。4年前に北インド調査の帰りにMr. Manturと泊まったところだ。 時差があり遅いので、夕食抜きで寝ることにした。
01-10-1		5:00aにコーランの誦詠で目が覚めた。体を洗って小物の整理をした。 8:00a、3人で朝食、今回は石川さんとSと一緒に、Rさんの結婚式にも出る予定である。 10:00aにコンノートプレイスに行こうとした所、過剰に親切な通行人がおり、ITDCのofficeに連れて行かれた。 成り行きでtaxiを借り、ラクシュミーナーヤン寺院、インド門、動物園、オールドフォート、ジャンパスホテルとめぐった。 14:30-15:30 p、Janpath Hotelで昼食をしてから、いつものKashimriの店に寄った。彼は居たが、歳をとり、よい老人に向っている。アメリカの件で客が減ったという。細かいやり取りは省略する。 動物園の人出は著しく多い。昨日有力者が航空機事故でなくなったらしく、政府機関は休みらしい。これと関係があるのかな?園内にneemの木は多く、再確認した。 <i>Setaria</i> spp.2種、 <i>Panicum</i> sp.1種、 <i>Digitaria</i> sp.、 <i>Eleusine indica</i> が生えていた。 16:00 pにRanjit Hotelに戻り、洗濯してから昼寝した。30C以上あり、暑くて2人とも少し疲れたのかもしれない。 19:40 pに停電があり、雷のためか、1分後に点灯する。国立博物館は月曜日やすみ。 20:00 pに旅行会社のお兄さんから電話、航空会社が不明らしい。9 wはjetway ; S2はsaharaairである。これらはterminal 1 B, (T-1AがIC用)。会社勤めなのに知らないのは怪しい者だ。 20:20 p、Lotusに夕食に行く。客他に一人。4重奏もあくびをしていた。 21:20 p、それぞれに引き上げる。大声の音楽が響き始める。何事だろうか、ちょっと寝られない音量である。
01-10-2		4:20a、一旦目が覚めた。コーランの誦詠が5:00a前。 6:30a、に体を洗う。カッタシャツが乾かず、省略。 8:00a、朝食。 9:30aにコンノートに向う。駅越えて横丁を通り、通りに出る。大半お店はM. Ganjiの誕生日で休み。政府系の店のみ開いており、「不」親切にも、「過剰」親切にも導かれてしまった。道で話しかけられることしきりで、疲れてしまった。Macでマハラジャバーガーを食べようといいつつ、インペリアルホテルで昼食をした。確かに、renewalして、5星ホテルになったと思う。マサラドーサとイドリを食べて、Rs 1200は、相当高い値段である。 14:00 p 過ぎにRanjitに戻る。休日だからか、学生と称する人々が多く、話しかけられて閉口した。この間、庭でドンチキドンチキやられて、最悪であった。このところかまわないのがインド人だ。 20:00pまで休むことにした。夕食はbryani、savji、paneerなどを食べた。 21:30 pに体を洗って、寝た。
01-10-3		5:00aに起きて、packing。 6:30aにtaxiをつかまえて、空港terminal1Bに向かう。9 w 8 1 5 jetairway to Bangalore. 7:30a、早く着きすぎたところに、1時間ほど遅れた。パイとthaiを飲む。 8:30aにチェックインする。Excessがなくてよかった。 10:45aに離陸する。 13:40 pにBangaloreに着いた。Dr. Seetharamが迎えに来ていた。大学のゲストハウスに向かう。 15:10 p、少し休憩後に、MG. roadに買い物に行く。ピザ屋に入る。高級店ばかりになっていることに驚く。 15:30 p、ゲストハウスに戻る。20:00 p 打ち合わせ。22:00 pに寝る。 ゲストハウス内の路傍には <i>S. glauca</i> が生えている。
01-10-4	Bangalore	Delhiでは <i>Eluesine indica</i> 、 <i>Pennisetum glaucum</i> (鳥の餌)、動物園で <i>Panicum</i> sp.を見た。 5:20a、起きる。

- 6:00a、水浴、冷たい。夜も寒く、毛布1枚では不足であった。服を着て寝ないと風邪を引きそうである。蚊は1匹いたが、はたいた時に逃げられた。電気蚊取器は効くのか、実際に84時間も電池が持つのか、疑問である。
- 7:00a、お茶。8:20a、シタラムさんと朝食後、jeepでUASに行き、スケジュールの打ち合わせをする。
- APはManturさんが、OrissaはJayarameGowdaさんが同行することになった。
- 10:00aに農場と植物園を見学する。旧来のCanteenはなくなって、新棟ができていた。コーヒーとidliしか出さない。植物園内の東屋のnon-veg給食もなくなっていた。省略。
- 14:30p過ぎにゲストハウスに着く。石川さんが少しの標本を整理。ミカンを食べる。省略。
- 20:00 pまで待っても夕食がないので、聞いてみたらないとのことで、スナックを食べてすごした。22:00 pに寝る。
- 01-10-5 6:30aに起きる。
- 8:30aにdriverが来て、観光に付き合ってくれた。Larbag植物園。Pakati赤紫のマメの花。省略。
- 11:30a、シタラムさんの姉さんの店、現在は子息が経営、パンジャビードレスとシャツ代わりに綿のサリーを買う。その後、MG. roadで中華昼食。Nirgilsで果物を買って帰る。
- 15:00 p、935m、28.3C。ゲストハウス。
- ラルバークは大きく変化して、美しくなったが、面白みがなくなった。見所はBombax 樹齢800年位か。
- 19:20 pに停電。原稿の直しをしていた。19:30 pから雨。24.7C。
- 22:30 p、夕食。
- 01-10-6 5:40aに起きる。ヨーグルトのせいか、若干ごろごろする。AP州境の調査地のルートを考えて。
- 6:40a、23.9C、915m。昨夜から雨、激しくはないが、珍しく多量で連続している。
- 7:00a、お茶。今のところほとんど蚊はいない。蚊取り線香はきつい。寝る前だけにしておこう。
- 8:00aに朝食。
- 8:30a、UASに行く。旅行日程の打ち合わせ。
- 12:00前に、Shivanandaiahさん宅に行き、昼食をいただく。
- 15:00p、ゲストハウスに戻る。
- 16:00 p、TV、Newspaperを見る。Israel発の飛行機が黒海に墜落した。Delhi発NY行きのIC815が一連の事件に関係しているらしい。資金の運搬か。UzbekにはUS Armyがすでに到着しており、双方が臨戦態勢に入っているようだ。
- ①Oct8-10: Cittoor. ②Oct.15-22: Orissa。シタラムさんはデリーからラニチュリに1週間出かける。
- Shivanandaiahさん宅に行く。皆元気で、孫も大きくなっていて、Jagadeshさんに車で送ってもらった。Yelahankaも発展して、4年前とは大きく変化して、人出が多くなっていて、立てかけだったビルが、shoping centerになっていた。女性の電話屋は別の店になっていた。他の”tax”店で日本に電話した。八百屋は休みだったが、菓子屋、文具屋は覚えていてくれた。BangladeshのDakkaでは反米デモがあった。
- 01-10-7 7:00aに起きて、お茶、シャワー。
- 7:39a、くもりか?、915m、23C。明け方は寒く、セーターがほしい。薄毛布1枚では寒い。
- Bangaloreは特別にあわたましい様子はない。空軍も陸軍も居るが、動いている様子はない。平穏な日常と思われる。
- 遠くからコーランは定時に聞こえてくる。
- 8:10 a、MG. roadに行ったが、ガンガラムは休みだったので、隣接の他の本屋に入った。National Book CenterもNirgilsも休みであった。Shangliraで昼食。ベストを買った。ゲストハウスにはリンゴをあげた。
- 14:03 pにゲストハウスに戻る。荷物の分別、packing、新聞読み。
- 15:56 p、小雨が振り出して直ぐに止んだ。23.6C、940m。昼頃は晴れていた。
- 18:26 p、23.8C、930m。雨はまたふつたが止んでいる。また停電になった。20分くらいで点いたので、シャワーを使った。洗濯の乾きが悪い。
- 20:11 p、23.6C、910m。
- 01-10-8 6:00aに起きる。出発準備。
- 6:30aにお茶。朝食。7:00a、23.4C、905m。

8:26a, 92366km. 出発。Yelahanka方向に向かう。
8:31a, ringroadを右折して、SSE, Madras方向、左手に鉄道、左折して渡る。Ringroadを抜ける。
8:49a, 左折して、ENEへ、旧道に出たようだ。朝の出勤や登校で混んでいる。左手に溜池があり、右手に水田。
左右に池、この15日間は雨が降った。以前にこのようなことはなかった。
92386km, 8:58a, on Route HW4. 給油。
ラギ畑少し。トウモロコシ、川を渡る。ブドウ畑。ニガウリのような、キュウリもあるようだ。不耕作畑が多い。
9:08a, Kayote町。Koralに向う。両側にユーカリ。ブドウ畑、サトウキビ田というべきか。
ラギ、低地はイネ。トウモロコシは少しある。ラギは出穂中が多い。ユーカリが多い。
9:18a, Gottipura, 左手, NH4. 水が多く、水田がある。ラギは一部収穫中である。トウモロコシ、トウジンビエが少しある。
トウモロコシかなり出てくる。ウシは稀にいる。左に池、クワ畑も多くある。水田、ラギ。低地には水が多い。1ヶ月以内に
まいたタネもある。Paddy+ragi+Pennisetum
9:31a, 果樹園, Koralに向う。とてもきれいなレストランとガソリンスタンド。HWに造っている。Hotelもある。
92417km, 980m. お茶の時間。
10:11a発。バナナ園少しある。低地に水が多い。ラギ畑に、トウモロコシ、Pennisetum, sorghumが少し混ざっている。
カラシナが開花中である。ラギの生育はとてもよい。ヤギ10頭、ウシ2頭。岩山の谷間に行く。軍用車が動いているが、
積荷はない。トマトの畑。ホルスタイン1頭。ヤギ10頭、水牛2頭。
10:28a, NH4.
10:30a, 鉄道を渡り、Chittoorに向う。
10:39a, バスと複数車の事故。水牛、ウシ、ヤギが多い。Rasamundara村。
10:41a, クワが多い。Mango園。青い花畑はラベンダーか、(アマかな?)。水田が多い。まだ若い苗である。田植え後
半月くらいかな。
10:52a, 水牛20頭、ウシ2頭。バラ畑5a。
10:56a, 谷間には水田が多い。水田+ラギ+sorghumは少し混ざる。
1109a, ヤギ50頭。ラギ, pigeonpea. マリーゴールド、トウモロコシ、イネ水田が多い。
92477km. サマイ畑。S. glaucaが入っている。Mr. Krishnappa, Tatigul 村。
domest compact type と小さい weed type: sana korulu (小さい・アワの意)、農夫は若い物と認識して、両者を
区別していない。コラリはサーメと混ぜる。ラギと混ぜて、muddeを作る。
Brachiaria sp. weed は akki hullu (イネ・草の意)
Panicum sumatrense はsame: 最近ではサマイを作らなくなった。Muddeにして神に供えている。
サマイ畑はシコクビエの畑に隣接している。おおよそ、5aが2筆ある。
12:11 p 発。Nangali町。休耕水田も多い。軍用車はMadras方向に向かっている。
水田、落花生の畑が多い。ヤギ50頭、サトウキビ。イネ水田はラギよりも多い。案山子が1体ある。
12:21 p、Palmanerまで17km。
12:26 p で右折して、横道に入る。サマイ畑が多い。すぐに水田とサトウキビが多くなる。落花生畑にトウモロコシが
少し混ざる。水田中にサマイの畑が3ヶ所、1aづつ。落花生畑が広がっている。
Jalalpalli, 1.5km左折する。
92506km, 805m, 12:46, Jalalpalli村に着く。
村内に入ったが、サマイとコラリの混作畑は道路沿いにあるとのことで、戻る。
とても大きく東西方向に長方形の混作畑があった。図あり。南北18m、東西130m。
Brachiaria sp. やDigitaria sp. の未出穂個体もあったが、シコクビエは全体でも1個体を見たのみであった。
w 道路, s/e 休耕地2方向, N cawpeaの畑に囲まれていた。
1平方mのコドラートを4つとって、個体数、被度、最高草丈を計った。各区は4等分して数えた。
same+korulu (コラリ): 常に混作している。乾燥に対応することが主な理由である。分けては栽培しない。

01-10-8-1

01-10-8-2

両種の割合は降雨量によって変化するが、ほぼ安定した収量が得られる。多雨はsameが、少雨はkoruluが多くの割合になる。

栄養がよい。両種の種子はすべて混合したままで用いる。
ビスケットを作るのに買いに来る。PalmanerのBazarで売る。
upumaも作るが、とてもおいしい。

Panicum sumatrense : 黒い種子は nalla samelu (black/sameの意)。白い種子は tella/palu (white・sameの意) : 主にpaluを使用する。Majjige samelu (x xの意、意味を聞きそびれた) とも言う。

Brachiaria sp. のweed 特有の名称: **vo t lu kosavu** (x x・植物plantの意)

特別な利用法: **アワ navane は神に供える**。Large "korulu"。Jagryを混ぜて甘いめし **kodalu 特別食品**を作る。

92508km。S. glaucaのpure stand に近い畑が反対側の畑に見られた。Sameはほんの少し入っているのみ。

混合種子を播いたのかを確認すること。明日また来て調査を続行する。

15:59 p、SH32幹線道路に戻る。Mango園。マメとトウジンビエの混作畑。

16:13 p、92524km、670m。AP州境。通行税を払う。Rs 2100。とても高い。Trupatiへの交通量が多いからだという。

16:25 p、発。NH4でChittoorに向う。休憩して、食事を取る。

17:19 p 発。Chittoorまで42kmある。左に池、右に水田。Cawpeaの畑。多くは草地。

17:27 p、灌木林に行く。左、蓮池。サトウキビが多い。稀にラギと稲田もある。落花生、水稲。

岩山や岩が露出したところも多々ある。現在は水が豊富で、緑は濃い。

17:59 p、Chittoorの町に入るが、日は落ちて、暗くなっていた。

18:17 p、ゲストハウスは3室とも満室であったので、Hotel Sree Durgaにした。Naidubuil Dings, Chittoor, AP boysが若い異国の娘に対して騒々しいので、私のところに2名とも泊めることにした。蚊が多くよく寝られなかった。夕食無しで、21:00 p までに標本整理を大まかに済ませた。さく葉標本もかなり収集できてよかった。

Paspalumの畑は見られなかった。

21:16 p、320m。かなり暑い。

前夜は雨であったが、晴れている。

6:00a起床。

7:50a発。朝食を別の店で取る。熱心な店で、いろいろなitemsを作っている。

idly, vadai, semia, parota, dosai, biriyani chicken

8:32a、92573km、300m。Duhdr川を渡る。走行は 60-70km/hr。

8:42a、310m。右にモロコシ少し。同じ道NH4をPalmanerに向う。サトウキビと稲田が多い。

道路沿いに小さなモロコシ畑がある。Pegionepeaと落花生の混作畑。低木のランタナが道路わきに多い。

稲田は美しく、タイヌビエは見えない。マンゴ園。右に山畑、ラギが少し。代掻きを手でしていた。ココヤシがある。サトウキビが多い。

8:53a。Palmanerまで42km。休耕地や草地も多い。ラギ、稲田。ココヤシとmangoの下は稲田になっている。

9:04a、Palmanerまで14km。ココヤシとmangoが多い。Pigeonpea、稲田、サトウキビも多い。

上り坂、x x 読めない。アワあり。ランタナの藪が広い。谷間の窪地にイネ。サトウキビが少しある。

9:11a、575m。低木林が続く。路肩にはユーカリ。ゾウのsancutuary、ecosystemの保存を言っている。

雑木林が終わる。Pottery2ヶ所、主に飾り用の造形。

9:18a、人里に出る。ガソリンを入れる。

9:20a、Palmanerの町に入る。水田と池、美しい景色。サトウキビと稲田、ココヤシ。

9:35a、すぐにNH4を左折する。SH32。落花生とモロコシの間作。ラギが少し、稲田が多い。クワも栽培されている。

9:44a、水田、サトウキビが多い。ラギは少ない。マンゴ、ユーカリ林。

S. glaucaの優占する畑の調査 : 6年前はまざっているものをもらったが、栽培しているうちにコラリだけになってしまった。利用法は同じ。**S. glauca = chinna sameとも呼ぶ**。Samelu、サムローと呼んでいるようにも聞こえる。

01-10-9

01-10-9-1

1. 脱穀して、風選する。2. 熱湯で1時間、パーボイルする。粃が開く。3. 干す。4. 粃摺りをする。
混合穀粒と同じで、3種類の食品を作る。Upuma, annamu, mudda。

近隣にもうヶ所、*S. glauca*とsameも混作畑があるという。

雨が少なかったので、*S. glauca*が先に発芽して、*P. sumatrense*は発芽が遅れて、*S. glauca*のpure standに見えた。
Panicum sp. は開花中で未熟種子は取れない。

riceはパーボイルしていない。

92637km, 690m, 12:15 p. *S. glauca*のコードラート調査終了。

12:20 p 右折、SH32から地方道に入る。サトウキビ、稲田、落花生が多い。移植後のイネが多い。

12:33 p、NH4を北上する。落花生、pigeonpea、モロコシが栽培されている。

112:38 p、村内、ラギが少しある。左は池、右は稲田であり、ここにラギ田が混ざる。

01-10-9-2 92661km, 12:45 p. 農夫 Nadupanna Sriramappa, Gangamma, Dombarpally 村, PO? Apganpally.

両側に10aのsame畑が2筆。*S. glauca*が多くはなく、目に付く程度で混ざるが、草だといっている。

丘を下るとイネ水田、サトウキビ、左手にはラギ畑。収穫した牛車を通る。ラギの穂のみを積んでいる。

Rajupali, 未出穂のモロコシが多い、ラギは少しある。

*自動車はTATAのSUMO、運転手はspeedの出しすぎで、追越をするので、かなり危険である。早くて畑が見えにくかった。目的地に早く着くのはありがたい。しかし、同行のお二人は地図が十分に読めず、土地勘がない。

13:21 p、クワ畑が多い。黄色の菊の畑。ラギの畑、sameの畑が多くなる。トウジンビエはごく少ない。

出穂中のモロコシは少ない。左はpool, 右は水田。

92676km, 13:38-14:25 p 町に入り、昼食をとる。稲田、サトウキビ、ユーカリ林。

SH32を北上する。

92681km, 14:43 p. アワを探しに来たが、なかった。ラギ8列に、**トウジンビエbajera** 1列の間作。同じ道に戻り、南に下る。ヤギが多い。

14:49 p、町に入る。SH3 2上でラギ干し。稲田中に、ヒエ属が少しある。ラギ畑。

01-10-9-3-a/b 92702km, 710m, 15:31 p. 2筆、3aと4a。サマイPs。 コラリD:Sg. コルネW+D; Br. 近くにラギ畑ある。

16:03 p 発、**Palmaner**まで15kmもどる。NH4に向い、途中で左折し、間道に行く。

16:10 p、稲田が多い。右にスイレンの池。

16:17 p、大岩がごろごろしている。小さな町を通過して、**Shodopali**に向う。バスやトラックが時々通る。

落花生がとても多い。稲田やサトウキビが多い。右手に岩山。

落花生、トウジンビエ、サトウキビ、イネ。

16:37 p、左折、Madanpaliに30km。右手にアワがあつたらしい。

16:42 p、道を間違えて、反転する。図あり。

16:51 p、再び反転して、Mulbagal, SW方向に向かう。右手にアワらしき物、2個体。

ラギ、クワ、サトウキビ。

17:07 p、**Madnnapali**まで21km。左に溜池、水田が多い。落花生も多い。

17:17 p、大きな町に入り、人出が多い。昼食をとったところに戻った。ゲストハウスが見つからず、お茶にする。

17:45 p、右にモロコシが開花、出穂中。右手に沈む夕陽がまぶしい。

左手にsame畑が3ヶ所あつた。ラギ田畑、右に稲田。数mの高低差でどちらを栽培するかが決まるようだ。

菊の畑があつたので、昼通ったところと同じであろう。

17:54 p、そろそろ陽は沈む。クワが多い、落花生。家畜が家路を急いでいる。イネ、サトウキビ。

右にsame畑、草地が多い。

18:04 p、右の丘の上にsameの畑。Mangoの小木。そろそろ収穫を迎える水田。暗くなったので、家々が点灯する。

18:19 p、稲田、クワ、落花生、bajera。

18:22 p、大きな道に出て、右折、NH4のby passで**Kolar**まで戻った。

01-10-10

19:00 p、Woody'sに泊まる。

20:00-21:00 p、夕食。

21:00-23:00 p、種子、標本の整理。新聞が不足したので、01-10-9-3bは明日処理することにした。

水曜日、曇り、

5:50aに起きて、荷物整理。

6:40a、25.6C、810m。小雨は7:00a過ぎにあがる。

8:00a、朝食。

8:40a発、92819km、Chittor方向に戻る。モロコシ、トマト、クワの畑が多い。ユーカリの苗圃は植林する。

ラギとトウジンビエの間作。

8:51a、ラギ、イネ。田植えすみも、今が収穫期のところもある。

Murbagalまで10km、ラギが点在している。

8:55a、ラギは丘と稲田に隣接して栽培されている。右手にラギがとても多い。左手は稲田。地図あり。

9:02a、町内に入らずに、右手方向で、NH4に向かう。ラギが多く、トウモロコシは少ない。陽が出る。

9:06a、Chennai方向に向かう。ラギ8列+トウジンビエ1列の間作。町内通過を避けて、Bypass合流し、gateがある。

9:11a、ラギ、稲田、池。ラギ穂の脱穀中。老農に聞く。コドラhaluka。

9:15a、反転して戻る。Same畑に少し*S. glauca*が混合している。隣は水田。もう一度反転して、NH4をChittor方向に行く。

農家に聞いたが、このあたりではコドラは作っていない。もっと乾燥したところだという。NH4沿いには水が多いので、

稲田、ラギ、丘のところはsameの栽培となっている。

右にsame畑、5a。クワが多い、丘はラギ。

9:36a、92860km、Nangaliの町で、肥料屋に聞く。

9:57a、Palmanerまで27km。

10:01a、右折して、村道に入る。Same、ラギが多い。トマトや落花生は換金作物。

ラギは広く栽培されている。Sameには*S. glauca*が混入している。Jarapali村。

村は町から約6km、幹線道路から直角に入る。バスも来ている。

コドラについて聞く。本年は雨が遅かったので、コドラは播かなかった。Sameを播いた。

(多年生植物で、生長に日数を要するからであろうか)

① 家畜の堆肥を、播種前にのみ、施肥する。② 4月の3,4週に播種し、コドラは密に生えるので、除草はしない。

③ 株刈りで9-10月に収穫する。コドラは雑草を区別しないで、皆混ぜて収穫してしまう。

④ 乾燥は道路上で、2-3日行なう。雨が降る前に、結束して、脱穀場に運ぶ。

⑤ コドラはすぐに、stone roller かトラクターで脱穀する。

コドラalkaが1個体生育していたが、これはニワトリに与えた種子が発芽したものだという。ここではharakalu と呼ぶ。

雨が少なく、5-6月に他の草がないときは、コドラをウシに食べさせる。それでも、分枝が出て、収穫することが

できるので、とても都合のよい作物であるという。

⑥ 貯蔵は、少量の場合は土製のポットに、大量の場合は竹で編んだ貯蔵容器の内外に牛糞を塗って、滑らかにして

使用する。4-5年は貯蔵が可能という。

⑦ コドラからは、dosa, roti, mudda, ganji, annaを作る。Dosaのみ、イネ粉と混ぜるとおいしいので、混合して

調理するが、他の食品については混合しないで作る。

モロコシ jonna: 7列の落花生 karakai (Kannada語)に1列の割合で間作する。Pigeonpeaも混ざる。

ragi, sameの畑には、落花生、nigerseed、モロコシが間作されている。

11:30a、2-3kmほど戻り、NH4にでる。15-20km/hr。

11:45aにNH4に出て、左折する。

92874km、715m、町に戻る。Bangaloreまで、102km。ラギよりもイネが多く栽培されている。

11:59a、Madugaliに入る。30km先の村に行くか?Madugaliの本町を右折する。

01-10-10-1

12:06 p、右折、すぐ左折して、Srinivasapurに向う。
左に稲田、右に岩山。ラギとイネが多い。右にsameが10a、ラギが多い。左手はイネがとても多い。
12:11 p、左にsame、しかしラギのほうが多い。少し意識を失う。
12:26 p、92906km、790m。トンボが多く飛んでいる。

01-10-10-2a/b **Laxmi Sagara 村、TQ, Srinivasapura; dist, Kolar, Manjunath**さん農夫。795m。
20年前にはnavane アフを栽培していたが、今はragi (改良品種No. 28) とsameを栽培している。
a畑はラギの収穫中、b畑はsameが生育開花中、つるマメ、雑草各種が生育している。
sameはお祭りのときに、burugu にして神に供する。Burugu (puffed rice) はKannada語で、puriのことだという。
直径8cmくらいの円形扁平でjagaryを入れて甘くする。
92906km、13:10 p。ユーカリの植林地が続く。後8kmで、町に至る。マンゴ園、タマリンド、ラギの畑。ハヤトウリらしい。
13:22 p、ヤシ園の下にはラギの畑。
13:28 p、**Shapvapuriに着き**、一般家庭のような店で昼食をとる。学生が一月契約で、食事をしている。
14:11 p、Bangaloreに向う。クワ、養蚕が多い。モロコシが少しある。草地となる。低いユーカリの林。ラギの畑。
稀にトマト、モロコシの畑30a。Mango園にラギが栽培されている。
14:33 p、左折する。薪売りが。クワ、ラギ、稲田が少し。曇ってきている。
14:56 p、右折した。ラギとトウモロコシの畑。
92860km、ガソリンを入れる。雨が降り出したが、すぐに通り返した。ラギの間作が続く。
15:21 p、**Viyadafodaの町**。左折する。NH7に出て、さらに左折する。国際空港は警備が厳重で、兵隊が監視していた。
Devanahaliに出た。右に鉄道。
15:36 p、**Bangaloreに36km, Yelahanka 17km**。
左にラギ畑。右にトウモロコシ。片側3斜線の道路に出る。Bangalore 39km, Yelahanka 14km。
右に、ラギ畑と鉄道。
15:46 p、鉄道を渡り、一車線になる。
16:20 p、93017km。ゲストハウスに着く。果物を買って来たら、標本の整理をする。
20:30 p、夕食。22:00 p寝る。石川さんは標本の計測をする。

01-10-11
9:03a、23.8C、晴れ、855m。
7:00a、お茶と朝食。
8:30a、標本干し。
9:00a、Orissa調査のルートを検討する。
13:00 pに昼食に行き、Hebbal Campus を見る。
本部棟はAgriculture Museumになっていた。見本園はLive Museum。午後は標本乾燥と土落としに過ごした。
19:00 pにMurtyさんが石川さんあての手紙を持って来た。この件は省略。Murtyさんは、家族もみな元気で、当人も大学の通信課程を終えた。シタラム一家と北インドへ20日ほどの旅行に同行した。妹に子どもが生まれた。近く、公務員になるつもりなどの話を聞いた。自転車は2回タイヤを取り替えたが、健在らしい。寮を出て、家族がアメリカに行った家で、老人と暮らしているらしい。

01-10-12
20:00 p、夕食後、リスト作り。
7:14a、24.2C、865m。今は小雨になっているが、夜半には大降り、雷があり、現在はまだ停電中である。
6:30aに起きて、7:00aにお茶。8:30a、朝食、masara dosa。
9:20a、外出する。Windsor Minor予約、27-29日2泊する。カルナタカ州立博物館、Gangalum Books、Shangliraで昼食、Nirgil'sで電気ポットを買う。
とても良いが3足でコンセントに入らず、使えない。変圧アダプターを探したがもって来ない。
15:30 p、ゲストハウスに帰る。電気が来る。石川さん申請論文の整理。標本リストを作る。

01-10-13 20:30 p、夕食。そまはアンケート用紙の作成。22:30 pに寝る。
7:33a, 23.7C, 875m。朝まで雨、午前中は曇り、午後晴れる。
6:00a、洗濯、沐浴。6:40a、お茶。8:30a、朝食、ノートの整理。
10:30a、GKVKに向う。Orissaの打ち合わせ。省略。
15:00 p、ゲストハウスに戻り、標本干し。
17:00 p、Murtyさんが来る。明日19:00pにシタラムさん宅を訪問する。家への道順を聞いたがよくわからない。彼が16:00p
に来て連れて行ってくれるという。Taxiをチャーターできないか。電話は通じなかった。
20:30 p、しばし雑談をしてから寝る。

01-10-14 6:00a、沐浴、茶。
6:37a, 23.7C, 895m。早朝から、かなり降ってきた。
7:20a、ジャガディシュさん来訪。申請書の修正。
12:30 p、copyと電話。Taxiの予約に行く。日本からの話によると、第1次攻撃は終わる。たんそ菌athrexがFBIなどに
送られた。さらにh jするというらしい。
12:00 p、標本干し、10:30aに晴れてきた。
15:00p少し前にtaxiが来たが、場所の確認だという。
16:05 p、MG. Roadに向う。バービーを買う。コーヒーを飲む。
18:00 p、シタラムさん宅に行く。
20:30 p、辞去。

01-10-15 21:25 p、ゲストハウスに戻る。
6:40a、起きてお茶、荷物整理などをする。資料整理、論文のチェック。
7:13a, 23.4C, 895m。曇りのようだ。10:00a過ぎに陽が出てきた。
9:00a、朝食、標本干し。
11:00a、管理人が来て、予約日が違っているという。22-26日まで再予約する。Deposit分は支払わなくてよいという。
12:00 p、論文の推敲、1回目。PakingもほぼOK。いよいよOrissaへの再訪である。
***S. glauca*の良い畑にめぐり合うことを願う。希望は：**
1. Kodoの畑に*S. glauca*が混入しているところ。混作畑。
2. 他に、rice -weed; same - *S. glauca* and *Brachiaria ramosa*; ragi - *S. glauca*
3. 2-3ヶ所でコドラートを取る。
14:45 pに車が来る。
16:20 pに空港に行く。シタラムさんとジャガディシュさんが来る。
17:20 p、Hyderabadに向う。
18:25 p、空港からホテルに向う。Dwaraka Palace
20:30 pに寝ようとしたが、うるさくて寝られない。2:00aまで、人の声と車の騒音。

01-10-16 4:30a、起きる。
5:40a、車が来て、6:30a、チェックイン。
7:45a、CD 7 5 6 1で Vizagに向う。
9:00a、にシタラムさんに電話。海岸を見た。
10:30a、朝食。
KalilasaHillを左に見て、上り坂である。
11:04a、右に海。パルミラヤシが多い。
11:22a、Isnkalinua? 不明を右に行く。海岸に出る。水田が出てくる。
11:39a、水田が多い。パルミラヤシ。
11:45a、右折して、本道に出て、すぐに橋を渡る。裸地の丘がある。広い水田地帯で、スイギユウが多い。

12:04 p、Visiyanagaram、パルミラヤシが多い。左に、鉄道、
12:08 p、**Vizyanagram**の**市街**に向かう。Agr. Res. Stationでラギの畑を見る。
13:24 p、Salurに向う。川を渡る。
13:39 p、鉄道を渡る。パルミラヤシの林。草地の山に向う。13:40 p、29. 6C, 晴れ、155m。
繊維用hibiscusが多い。左に池、右に水田。農家を通り過ぎる、水田が多い。
13:56 p、川を渡る。
14:02 p、Sarulまで、30km、*Hibiscus*の畑が多い。Mango園。水田地帯である。
14:04 p、30. 9C, 135m。水田が多い。鉄道の踏み切りで、列車を待つ。
イネ、hibiscus、が多い。雨は降らないが、曇っている。
14:29 p、パルミラヤシが多い。左手、家の屋根にパルミラヤシを用いる。ナスの畑。
14:31 p、205m。31. 3C。ワタの畑。左側はサトウキビの畑。バナナ園や、ココヤシ園がある。
14:39 p、川を渡り、**Salur**に入る。水牛が10頭いる。Orissaの州境である。
14:45 p、Korap t に向う。稲田が続く。前方に丘が迫る。美しい緑の中に行く。ワタの畑か?山地帯にかかる。上り坂。
14:55、15:09 p、30. 9C, 510mm。左手に稲田地帯を見下ろす。雑穀が出てくる。山畑が多い。焼畑もやっているのか?
NH43, Koraput dist, Orissaに入る。
15:09 p、sameにアワが混作、おおくくの畑で。
15:25 p、Koraput まで、65km、左にラギ畑、オカボやアワがある。霧が山峰を覆う。Nigerseedの畑。水田も少しある。
ラギ畑、人家にトウモロコシが少しある。コドラらしき畑がある。ラギが多い。
15:43 p、小雨になる。美しい棚田である。ラギ、
15:48 p、28. 5C, 1045m。Nigerseedが多い。ラギ畑の中に、ムギケイトウが多い。ラギ、サマイ、
15:53 p、Koraput まで50km。低地に下る。ラギ+オカボがととも多い。この中に、大きなムラサキの穂のサマイが
少し混ざる。*Sorghum halepense* がよく混ざっている。ラギの畑が多い。いくらか低くて水があるところはイネで、
高いところはラギである。
nigerseedの畑が多い。開花が始まっている。Same+ragi、ウコン畑、案山子があった。ユーカリの林が少々点在している。
16:29 p、Semidigudaに着く。草地が多い。Orissa Univ. Agr. TecのStationに行き、その後、ゲストハウスに行く。
近隣町内で、何らかの理由による自殺者があり、大騒ぎとなり、住民が道路を封鎖して警察も居た。
このために車で夕食に行くことができなかった。Stationの所長は1987年に来たこと、acknowledgementに名前が
あったことを覚えていた。とても危険と判断したので、夕食をとらずに、ゲストハウスに戻るように言った。
所長の厚意で、近所のホテルから夕食を運んでもらった。明日の朝食は所長Dr. S. Rash宅でいただく。
明日の日程について打ち合わせ、一人が2日間付き合ってくださいることになった。その後は次のStationの人に依頼する。
4泊して、5泊目はVizag. に夕方には着く必要がある。ルートは別に記す。
6:00aに起きて出発準備。7:17a、28. 4C, 875m, 晴れそうだ。
Dr. Rath宅で朝食。娘さん20歳あり。
8:56a発。一名同行してもらおう。小雨が降ってきた。Salur方向に戻る。前回の調査地を見る。
赤紫の穂で、草丈が高い、サマイが多い。
9:27a、一人乗る。
01-10-17-1 **Kundli 村再訪、855m**。Samai, ragiの混合畑。サマイは紫の穂が多く、緑の穂は少ない。ラギは開いた穂と曲がった
穂と両方がある。雑草はメヒシバ、*Panicum* sp.、*Celosia*などがある。サマイの穂は熟しつつある。
*S. glauca*は長い穂だが、畑中にはごく少し入っているに過ぎなかった。本年は雨が多く、*S. glauca*の生育もよいが、
他の2作物もとても良好で、ラギは今開花中である。ラギの畑で、目測で、コドラート測定をした。
01-10-17-2 860m。オカボ畑。コドラが少し混ざっている。
道路の反対側、種も標本も採らない。丘の上の雑穀畑には、播種と収穫のためにのみ2回行く。
koddo, kukulangdi (*S. glauca*) はriceに混ぜて、**めしbhatto** (boiled rice) にして食べる。

農夫の認識では両種ともweedで、イネと一緒に種をまくことはない、勝手に生えてくるということである。
weedコドラはイネに混ぜて、アンナがuppituにする。S. glaucaも同じである。
10:58a、コドラの種がイネに混ざっていて、生えてきた。混ざったまま一緒に食べる。引き返して先に進む。
11:07a、車に空気を入れる。**Semidigma**を通過する。また晴れてくる。
11:19a、左に池、右の橋を渡る。サマイとラギの混作畑が多い。窪地や池の周辺には稲田が多い。
Sunabedaの町、1141a、Koraputに入る。前方に、川あり。稲田、ラギとサマイ混作畑。焼畑の煙が上がっていた。

山を下る。谷間の低地、稲田がある。
12:03-13:18 p、615m。草地が多い。村落を通過する。Jeypore Hotelで昼食、中華料理。
01-10-17-3 13:42 p、20km戻って焼畑を見に行く。小谷を越えて見に行く。谷間には稲田がある。
Bogaipadar 村 near Jeypore. Nindi Paiko 農夫さん。885m。
コスモス、クズ、*Deoscorea* sp, *Bidens* sp. ルコウソウ、*Ageratum* sp. などがあつた。
墨を伏せ焼きで作っていた。土質は硬い。直径60cm、深さ40cmの穴を掘り、この中、上に木を積み、上に火をつけて、
葉を載せて焼く。この方法は複数の人がやっていて、できた炭は売るそうだ。
ラギは **mandia**、アワは **kangu**、サマイは **nalisuan**。畑にはラギ、サマイ、少しのアワが混ざっていた。
14:44 p、**Jeypur**に向う。熱帯林を抜ける。右には蓮の池。町を抜けると、水田地帯で、祭りの準備をしていた。
15:31 p、630m、広大な水田地帯。
15:36 p、**Bodigma**を通過する。*Oryza rufipogon*、水田中に少しあつた、赤い芒である。
カシューナッツ園、低いところは水田地帯、ラギ畑がまた少しある。

01-10-17-4 16:23 p、4737km、594m。水田中の***Paspalum* sp. weed**。水田畦畔の***S. glauca* weed**。
***S. glauca*は水田中には入らない。オカボの中に入るのか?**
16:26 p、稲田が続く。時々、ユーカリ林とカシューナッツ園。草地、mango園。水田が多い。
数mから10mの丘は草地になる。

16:41 p、**Navarrca?**を通過する。一部で稲刈りをしている。
水田中の個体差は大きい。水田を背景にした、赤黄色のサリーは鮮やかである。
16:49 p、Nabangdurに着く。所々に大きなgatesを造っている。
16:56 p、Katiguda まで35km。17:10 pに300mほどわき道に入り、すぐに引き返す。
01-10-17-5 17:24 p 発。4760km、610m。Patramunda 村。
ラギの畑にサマイが混ざる。

Nabarangapurに戻る。Hotel Turptiに泊まる。
01-10-18 5:30a、起きる。祭りの準備で騒々しい。薄曇である。
7:50a発、4760km、555m。Bhawanipatnaに向う。
昨日の最終採集地を通過する。熟した稲田が続く。Redwoodの植林地。稲田の中に、2筆nigerseedの畑がある。
NH201、小川を渡る。道路の補修中。草地に変わる。
8:09a、45km/hrで走行。ラギとnigerseedの畑。モロコシは未出穂である。
稲田より数m高いと畑地になる。植林地、小さな村、Papadahandi町、右折する。
8:17a、Bhawanipatna方向に向かう。どこも祭りの準備中である。稲田地帯が続くが、丘はラギである。NH201。
草地、ヤギがとても多い。ラギ中にサマイが少しある。オクラの仲間が畑中にあつた。稲田が続く。
8:43a、小さな村を通過する。稲田。風は心地よい。紫穂のイネがあつた。
8:56a、林の中に行く。長い植林地である。
9:18a、4817km。小さな町に至る。また稲田が続くことになった。40km/hrで走行している。
pigeonpeaが少しあつた。桑畑はすくない。
4824km、サトイモが水田の畦にごく少しあつた。道がよくなってきたので、53km/hrに速度が上がった。
牛が多い。

- 4833km, 9:40a, **Kokusaraの町**。稲刈りをしている。稲田にはヒエ属が少し混ざっている。マメの畑も少しある。
9:55a, x x 稲田。
- 10:07a, 4846km。村内の路傍に、*Eleusine indica*、ここは水田ばかり。ヤシはほとんどない。ヒマが少しある。
Chalahar町。*Paspalum* sp. weedが稲田の畦に多い。人家にはコンパクトな穂のモロコシが植えられていた。
- 4855km, Bhawanipatnaまで、40km。若いパルミラヤシが多い。水田が減ってきた。
- 11:01a, 川を渡る。Jotugath町。彼はバスで帰っていった。次のバスは夜しかないという。
- 01-10-18-1 12:12 p, 4874km, 240m。水溜りに野生イネ。水田内に*Paspalum* sp. が少し生えている。
わき道に入るがすぐに戻る。
- 01-10-18-2 12:06p, 200mくらい中に入る。**Mariabandi 村, Kalandi dist.**
小さな村に入って、ラギをJGさんが探している。**Mandia**ラギとサマイをもらった。
wild riceは食べるが, wild *Paspalum* sp.は食べないという。
上り坂になる。稲田と草地がある。雑木林となる。竹の藪もある。その後はまた、稲田ばかりになる。
川を渡る。
- 12:35 p, 4886km。丘でも x x x も少ない。稲田が多い。延々と続く。
12:55 p, 稲田と草地。
- 4899km, **Bhawanipatna**に着く。Officeを探す。
13:28 p, 52%は畑地であるという。Tribal area で 6-9月にminor milletを栽培する。*Echinochloa*と*Paspalum*を
1000-2000ha作付けしている。15:30 pにもう一度来る。
- Astigoda 村、Madangi、Kodorgura(-pura)、幹線道路で30km。
Ass. Directorの話。一名農業改良普及員59歳がついてくる。
Kodo No.3 (kangu のことか不明)
- kosora No.1, longdulation はある。*Echinochloa flumentacea*、
grusi? (cruji) No.2 *Panicum sumatrense* : 無施肥で6月に播種する。Millet flyの害がある。
ワタや換金作物が増えて、milletが減少している。9-10月は収穫期である。雑穀収穫の後に、nigerseedを播く。
*S. glauca*は混合してはいないという。Kodoはsingle cropである。
- 15:29 p, Agr. Res. StationからHill area, traibal areaに向う。縄がなわれている。稲田が多い、285m。
15:56 p, 4913km、稲田の間に、畑が出てくる。*Celocia*が多い。町から40kmか、山中に入る。
16:13p、竹の変異が大きい。人通りはまったくない。
16:21 p、橋を渡る。やっと2名と出会う。森の中に小水田がある。左に沢がある。
バイク1台とすれ違う。警察の自転車が2台来る。一人が草刈をしている。
4942km、あと2kmだという。左手に畑が出てくる。
- 19:43, 4943km、水田がある。家畜の大集団が来る。ウシ60+80頭、ヤギ20+40頭。右折してすぐに集落があった。
SH (州道) の奥まった村、男女、子ども50名ほど。何族かは不明。
- 01-10-18-3 **Purunaguma 村, Sri Ramasingh Majhi** さん。
村人に話を聞いて、種子を分けてもらう。Kodo収穫後に、Nigerseedやmustardを播くという。
本年は雨が多く、早く播いて9月末か10月初旬に収穫したというが、kodoは多年生で、生長が遅く、まだ畑にある
のではないかと思われ、諦めるべきではない。
シコクビエ mandia。 サマイ kusuda。 アワ kangu。 種子と精白粒をもらう。これらはめしにして食べる。Kodoは
なかった。
- 01-10-18-4 アワ畑があるらしく、山腹から穂を1本抜いてきてくれた。
17:49 p, 640m。少し戻った家の畑。サマイ畑。夕方でもう詳細は見えない。この人家は男2、女1と子供が住んで
いるようだ。世話役の中年男性が、車を追いかけてきてくれた。
この道はSH, あまり痛んでいないので、交通量は少ない。政治的に奥山に向けて造られた道路なのだろう。

- よい森を伐採するためでないのなら、tribal areaに対する配慮によるものか。
闇夜の森を抜けて戻る。4990km。？
- 01-10-19 19:02 p、**Bhawanapaton**のhotelに着く。比較的良好なホテルである。昼と同じところで高いとDr. JGがクリーム。
5:40a、起きる。荷物やノートの整理。朝食を部屋で取る。7:00a, 30.3C, 240m。
8:23a、発。4986km。すぐにディーゼルを入れる。SH6、Rayagadaまで 129km。ウシ20頭。
水田が続く。稲刈り、イネの香りが懐かしい。Bhawanipatonaを出る。
8:56a、林の中を行く。長い植林地である。水田が続く。左右に岩山がある。靱を袋詰めしていた。
pigeonpeaの畑。これを畦マメにしている。*Coix gigantea*らしきもの水田中に少しある。
- 01-10-19-1 9:12a、4999km、225m。*C. gigantea*の標本をとる。
ワタの畑が多い。山側はオカボ畑。
5001km、**Repur**まで1km。左に池、ボートが3艘。小さい村を通過する。Chartigudaまで4km。Nigerseed少しある。
水田が多い。ゆるい上り坂、草地に出る。*Alocasia* sp.少しある。Pigeonpeaは少しある。ワタ畑、クワ畑がある。
*Oryza sativa*の変異が大きい。
9:31a、右折する。広いワタ畑、水田あり。*C. gigantea*が多い。*Acacia*が多くなる。小さな村を通過する。
ワタ畑。ユーカリの苗圃がある。
9:44a、340m、低山林中に入る。畑はない。バスやトラックが通る。また、草地に入る。水田地帯に戻る。
稲田、ワタ畑、山間地を交互に通過していく。
10:11a、5029km。稲田にラギ田畑が出てくる。二分岐路を右に行く。低地は稲田、山側は畑地、nigerseed。
ワタ畑。サマイをもらったようだ。右にラギ畑が少しある。
10:30a、5034km。中くらいの村に入る。Agr. Officeを訪ねる。2名が乗車する。Kodoあるらしい。
10:40a、来た道に戻って、村に向う。図あり。
ODRrout?。77%がtribalで、彼らがmilletをつくっている。
5039kmで右折し、村道に入る。ワタが多い。モロコシに*S. halepense*が混ざる。
- 01-10-19-2 11:39a、34.6C, 380m。 **West Pokkarb11?**質問表に正確にある。
サマイ畑に*S. glauca*の白い穂がごく稀に、少し混ざっている。開花中だが、**食べないという、ghas**。
畦には*S. glauca*の赤い穂が生育。**脱粒性**が著しい。
オカボ畑：栽培*Paspalum*, 栽培*Echinochloa*, 雑草のJangle riceも一緒に生えている。
S. glauca はweed で小さい穂があり、よく脱粒する。
kodo： local variety と 収量のよい改良品種とがある。Weedのほうがdomestより、粒が大きい。イネとはgrainの色や大ききで区別する。平らなところで、石のローラーで脱穀する。貯蔵は竹のコンテナに入れる。
weedと domest を区別することはできない。除草はしない。間作もしない。
めしkodo anna にする。
13:00 p、5040km。道に戻り、2名を降ろして、幹線道路に戻る。
13:21 p、5046km、右折。谷間は稲田、ほかは草地である。
キッチンガーデンには、コンニャク、大型の*Deoscorea* sp.があった。牛たちが休んでいる。
稲田が多く、ラギとnigerseedの混作が少しある。
5049km、右折、小さい村からAnbadalaに向う。左に鉄道を見る。
14:08 p、発。昼食をとった。**SH6, Ambadal**。ブタ3頭。稲田が多い。地図ある。
14:16 p、5054km、Rayagudaまで 83km。川を渡るが、水は濁っている。
14:18 p、稲田がほとんどで、ワタやnigerseedが時々ある。ラギ畑、山に入り畑が出てくる。
14:23 p、SH6。*Celosia*がとても多い。広いnigerseedの畑、右にサマイの畑がある。
5061km、ラギ、サマイ。左右にラギが多く、ワタがときどきある。
ラギの中にサマイが少し混ざっている。水田が多く、ワタ畑もある。

- 14:49p、水溜り、稲田ばかりが続く。
 鉄道を渡るが、変わらず、水田地帯に行く。
 5078km、鉄道を渡る。Rayagudaに向う。ブタがいる。草地。
 ユニークな案山子が各種ある。Nigerseedが多い。
 5082km、15:06 p、鉄道を渡る。
- 01-10-19-3 5083km、SH5。Rayagudaに55km。稲田。ウシ大小30頭いた。モロコシの畑。山腹の畑はサマイか？
 5089km、15:42 p 発、375m。Rayagudaまで50km。サマイ畑。Bisham-cuttk 村。
 目分量で、コドラートを取る。図あり。S. glaucaは白と赤の剛毛が混ざっている。
 道路の反対側のサマイ畑は生育がよい。紫の穂は草丈1.5m、緑の穂は登熟中。隣の畑はまだ開花中である。
 ウシ100頭以上いる。水田地帯になる。丘には一部ラギ畑。山に入ると、ワタとラギの畑。
 5104km、16:06 p。複線鉄道を渡る。丘の中を行く。広いサマイの畑がある。Nigerseedの栽培されている。
 サマイの収穫は悪くないのか？ ワタ、サマイ畑。低地に下る。広大なサマイ畑。よい匂いがしたが、何だろうか？
 ラギとnigerseed、pigeonpea、またラギ。サマイがとても多い。
 5116km、16:24 p。SH5、Rayagudaまで25km。谷間には水田がとても多い。モロコシが5a栽培。
 ラギとサマイの混作、ワタ畑が多いサマイも多いが、次第に稲田が多くなる。町を通り過ぎる。
 16:52 p、Rayaguda市街に入る。Dist. Agr. Officeを訪問して、協力を依頼する。明朝8時に迎えに来るといふ。
 17:00p、ホテルに入り、ここで2泊する予定。
 20:15 p、夕食。前後して標本作りを行なう。23:30 pに寝る。
- 01-10-20 6:00aに起きる。標本と荷物の整理。6:55a、29.0C、185m。
 8:16a発。5144km。Dist. Agr. Office。Hornを修理して、Hill region、すなわちtraibal area に向う。
 milletの収量は7-8クンタール/ha で良くはない。ラギ粉の使用。
 竹製コンテナ、図あり、直径3-4m、高さ2m。イネの籾を入れている。
 両側ともに水田、昨日の道に戻って、北に向っている。チューイング用のタバコを少し作っている。
 5156km、8:48a。二又路を右折、東に向う。左は昨日来た道である。町を出ると水田が多い。ワタ畑。
 8:53a、5160km。Kornala を右折して、SSEに向う。水田。
 丘は草地、窪んだ所には稲田、移植するラギ。ワタ、pigeonpeaの畑がある。
 サマイ (kosula) はここでは ghantia と呼ばれている。ラギはmandia である。サマイ畑は広い。
- 01-10-20-1 9:28a、5162km、220m。Nadanpur 村、Kolanara Block。Tadingi (部族名) Kunda族。
 農夫名：Sri Tadingi Lachnana-Ragi + Ganthia。Tadingi Pulginys-Khosala
 サマイ畑中にBrachiaria sp. Setaria sp. はない。ラギ畑中にもBrachiaria sp. はない。
 Brachiaria sp. のweed はghas で、ウシの餌にし、人が食べることはない。サマイに擬態。
 small milletは播いて収穫するだけで、特に農作業はない。除草もしない。踊りをして、祝って、収穫をする。
 wineを飲む、すなわち、酒を造っているということである。
 谷間には水田が多い。ワタ。モロコシ。狭い谷間に行く。ヤギと牛が50頭。
 ラギとサマイの混作畑。稲田。Nigerseed。サマイがとても多い。
 ラギとサマイの混作畑、ゴマの畑3a、稲田、pigeonpea。
- 01-10-20-2 9:59a、345m。Jenglu に9km。サマイ畑にEchinochloa sp. weed がいっている。
 ラギ畑にはBrachiaria sp. などが入っている。ラギの乾燥中の種子をもらう。
 5178km。深い谷間を Jangiliに向う。
- 01-10-20-3 10:27a発、5179km、425m。Pennisetum americanum の穂をもらい、標本にする。
 タマリンドの若い実はすっぱい。チャツネに用いる。フィルムリスト省略。
 10:39a、5182kmm、Jangili村。Nigerseedの畑。
 Pikoguda 村はすぐ隣。ラギの畑の中に、S. halepenseがある。

- トウジンビエが多い。
- 01-10-20-4 11:06a、5187km、左折してわき道に入る。Nigerseed, サマイの畑。
11:14a、495m。Mirabali 村。Shifting cultivation 3年で行なっている？
ラギ、トウモロコシ、イネ、アワkangu、サマイkusula はguluelとjau (slowly) にする。
ラギ mandia: roti と jau を粉から作る。酒にはしない。腹もちがイネよりよい。
ragfi jau: ラギ粉にGur?と塩を加えて作る。Slurry type。
rori: ラギ粉にGurを加えて作る。 Gurとはお湯 guranpani のことか？
saluf tree plant から juice を作る。mafulo plant からwine を造る。
コドは見つからない。
12:07 p 発、5189km。元の下りの道に戻る。
5192km、Rayagudaまで36km。
12:15 p、下る。シコクビエ(ラギ)干しをしていた。Kodora monji はコドの種の意。
13:01 p、5211km。右折する。稲田が多い。意識無し。
13:22 p、5222km。町に戻る。1名降りる。ホテルで昼食をとる。
14:52 p、5233km、220m。Jeypur方向に向かう。Dist. Officeの人はいけない。左に川、SH4。PoaKonaまで35km。
ラギ。
15:24 p、5245km。Koraputまで 100km。ラギが多い。Nigerseed。Tribal areaの山林中を走行している。
畑は見えない。
- 01-10-20-5 15:44 p、nigerseed。サマイは多い。
16:03 p、5273km、690m。ラギとサマイの畑に*S. glauca*が混ざっている。多くはないが点在している。
多くは赤い長い穂で、種子は密生している。
Rayagudaまで20km、ホテルに戻る。
20:00 p、夕食後、標本の整理。
- 01-10-21 6:00a、起きて荷物整理、朝食。7:07a、31.2C、200m。
8:49a発、5313km、Vishakapatnam方向に向かう。
9:02a、鉄道の立派な鉄橋を渡る。大きな川である。Kedaruまで22km。右に鉄道と丘陵。Pigeonpea少ない。
marigoldの庭がある。右にラギと稲田。左は水田とpigeonpea。ワタ、ほとんどが稲田の地域である。
モロコシが少し、*S. halepense*かもしれない。
pigeonpeaが多い。小川を渡る。
9:15a、林の中を走る。ラギ、サマイ。ゴマの畑がある。また、サマイとpigeonpeaである。
9:25a、5333km、Kedaruに10km。水田地帯。この畦にweed *S. glauca*が多い。Nigerseed。*Succulum officinale*は
水田の畦にある。ユーカリの若木がある。Pigeonpeaの畑の中に、*S. halepense*が多い。ほとんどが水田。
9:40a、ヤシが多くなる。Kedra, APとOrissaの州境。左に大きい川、水田。2車線、中央ラインつきのよい道になる。
ワタが多く、サトウキビとゴマが少しある。バナナ園。パルミラヤシが点在する。ワタが多い。
ジュートの繊維取りをやっていた。鉄道で列車待ちになる。
10:12a、5361km、右折して山中に向うが、水田、バナナ、ジュートの刈り取り。パルミラヤシの葉と竹の棒で、
日傘を作っている。水溜りに、野生イネ。ダサラのためにヒツジを売っていた。雑穀はないので、すぐに引き返す。
野生イネが水溜りに多い。
10:33a、5367km。本幹線道に戻る。沢山のジュート繊維が運ばれていく。
10:55a、5380km。マンゴ園が広い。鉄道を渡る。白鳥が車の間を抜けていった。
11:42a、野生イネの大きな集団がある。ほとんどが水田ばかり。ジュート、ごく少しトウモロコシ。
12:39a、5484km。
12:55 p、5500km、ガソリンを入れる。

- 13:32 p、5528km。Lodgeを選ぶ。45m。Vishakapatnamに着く、ホテルに入って寝る。扇風機による風邪気味。
他の皆さんは海岸に観光に行った。
- 01-10-22 21:00 p、夕食。
5:30a、起きる。晴れ。
7:20a、空港に行く。パスポートも見せて、徹底的にチェックされ、荷物は何回も開けられた。特に、電気ポット、刃物類、水稲、カメラ類、電池、にうるさかった。名前も控えられた。
9:05a、Vizag 離陸し、
10:03aにHyderabadに着く。すぐにICRISATに向う。Taxiが30km/hr以下で遅くて、やきもきする。車が遅いので、本だけ注文してすぐに空港に戻る。
ICRISATにはvisitor担当がいて、案内してくれた。本館には本や農家のジオラマが展示してある。本屋が1時しか開かず、昼休みであったので、急いで注文書を書き、1時に持っていった。男女2名居たがどうも不仲で、printoutに時間がかかった。航空便で送ってもらった。
15:00 p 少し前に着く。Hyderabadでは結局、余裕があり、かなり待つことになった。厳重なsecurityであった。VizagはX-ray装置がないのか、ビル入り口で、全荷物を開けて調べた。
18:00 p 過ぎに、Bangaloreに着き、GKVKに向い、Hebbalで降りてもらった。部屋が不足で、別室で寝た。
まとめ： 調査行は無事修了した。一安心である。Kodoの畑はまったく見られなかったのは、残念だが、
1) 本年は雨量が豊かであった。 2) この15年余りに作付けが減少した。 3) 換金作物のnigerseedとワタが幅を効かせる事になったためであろうか。
kodo+S. glauca の混作畑は見られなかったが、 1) Eleusine coracana の畑に混入していたS. glaucaは長い穂と強壯な稈を有していた。 2) Panicum sumatrenseの畑にも、S. glaucaは侵入していた。
S. glaucaは意識的には、播種していないし、食べないという。明らかに、南インドとOrissaとでは形態に差がある。種子のつき方が密なのはOrissaのほうである。しかし、南インドで、サマイと混作しているのは意識的である。混合して食べることに意味がある。
植物体の各部に出ている色や、全体の色と比較データがどう出ているのか、興味深い。
(第1既) 論文中に示した、南インドのkodo畑中の (1個体のみ) S. glaucaは Orissa type のものであった。
収集腊葉標本のすべてをcheckして、地図上にplotしたら、もっと明確な分布図が得られよう。
- 01-10-23 6:00aに起きる。
8:00a、朝食。その後、ゲストハウスを移動する。Hebbal Campus内に行く。大きなteamが来るからという。
JagadishさんとSwamyさんが車で来る。
10:30aにコントラドさんが来る。Dr. Jagadishの友人、雑穀産業化している。実際に生産している業者に連れられて工場に行く。とても良質な物である。若社長は1ヶ月イタリアに研修に行くという。太ったお兄さんであった。
AIのリコンファームはOK。大学に行き、 1) Annual Reportをもらう。 2) 証明書をもらう。
その後若社長宅に行く。さらに、Dr. JagadeshのClubで夕食、家族とコントラット氏が同行する。自宅は3階建てで、とても広い。ビールを飲む。若社長が、種子の構造、種皮の層、branの構造を知りたいとのことで、文献を送ることになった。
- 01-10-24 6:00aに起きる。8:00aに朝食。その後縫い物をする。
12:30 p、GPOに行くが、seamailは5kg以下でないのだめだというので、もう一度縫い直した。
MG. roadに行き、Nirgil, Kaveri などで買い物をする。
15:00 p にケンタッキーで昼食をとる。17:30 p にゲストハウスに戻る。20:30 p、夕食と洗濯をする。
- 01-10-25 6:00a、洗濯。7:30a、Dr. Jagadesh来訪。
8:30a、朝食。腊葉標本の土落とし、整理。
16:00 p、Yelahankaに行く。途中でdosaを食べる。Shivanandaiah宅と、Mantur宅に挨拶に行く。
Yelahankaは大きく発展して、映画館まであった。道がわからなくなった。

- 16:30 p にゲストハウスに戻る。以後、地図の整理。野生イネの糞除去。その後、第一旅行の種子のduplicateを作る。
- 20:30 p、夕食時に、veg. と nonveg. が一緒になり、diningの雰囲気が悪かった。Maton curryを食べた。
- 22:30 p に寝る。
- 01-10-26 530a、沐浴と洗濯。夜半は雨、昼は曇りから晴れ。
7:00a、茶。8:30a、朝食。標本干し。ほんの発送準備、3個口。種子のduplicateをとる。リストの作成。
14:30 p、昼食、xelox屋はみな休みであった。引き続き、標本干し。
- 01-10-27 20:30 p、夕食。21:30 p、沐浴して寝る。
5:40a、起床して、荷物整理。7:00a、お茶。8:30a、朝食。
9:00a、GPOに行く。2名は前のゲストハウスに洗濯物を取りに行く。リストのcopyもする。
9:30aにGPOに着き、本を送る。荷物の窓を10cmほど取る必要があるとのことで、縫い目を切られた。
10:10a、WMS hotelに行き、taxiでUAS Hebbal Campusのゲストハウスに行き、荷物を取り、
2名がまだ居なかったので、もう一つのゲストハウスに見に行き、10:45aにUAS-GKVK Campusに行く。
皆、出払っていたので、荷物をすべて置いておいた。
また、UAS Hebbalのゲストハウスに戻り、洗濯物を待つが、来たと思ったら2点不足しているので、店まで行ってアイロンかけを待つ。
13:30 p、WMS Hotelにcheckinする。
14:30 p、昼食 at Raj ついに多くの肉類を食べてしまった。荷物整理。日本に電話。
19:00 p。20:30 p、夕食、Chinese Restaurantに行く。21:30 p に寝る。NHK衛星放送が入る。
- 01-10-28 晴れ、540aに起きる。
6:14a、Mantur一家が来る、6:29 a、一緒に結婚式場に向う。
7:05a、Hallに着く。40分ほどで式が終わり、朝食の図あり。Millet Clubの懐かしい人々に会った。
9:00a頃までいる。WMSに戻る。新聞読み。荷物のまとめ。標本干し。
- 01-10-29
01-10-30
01-10-31 この間にDelhiに出て、帰国した。
-

種子などの収集品リスト：

<i>Sorghum bicolor</i>	1
<i>Oryza sativa</i>	3
<i>Oryza rufipogon</i>	1
<i>Panicum sumatrense</i>	21
<i>Paspalum scrobiculatum</i>	2
<i>Eleusine coracana</i>	7
<i>Setaria italica</i>	4
<i>Setaria glauca</i>	15
<i>Brachiaria ramosa</i>	5
<i>Echinochloa frumentacea</i>	1
Others	18

腊葉標本 約 150点
